

## 南区・篠木コミュニティゼミについて

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-2-11

富士ビル赤坂5階 翼・篠木法律事務所

TEL 092-714-1050 FAX 092-714-1529

弁護士 篠 木 潔

### 一 設立の趣旨

私も皆さんも各自本業を持ち、それを通して利用者・家族や関係地域に貢献してはいます。しかし、本当にそれだけで良いのでしょうか。この国は未曾有の財政難で、医療福祉分野をみても、医療保険・介護保険上の医療・福祉サービスにも限界があります。しかもご存知の通り、待ったなしの状況です。それではどうすれば良いのでしょうか？

それは、私達が地域の一市民として、福祉に携わる一専門職として、同時に生きる一国民として、公のサービスでは不足する部分やそもそも適用範囲でない部分についても関心を持ち、地域の課題に取り組んで解決していくこと。これが必要だと思うのです。

そして、これは国が進める地域包括ケアシステムを下支えするというにとどまらず、これまでの自分の本業を超えて、さらにはこれまでの経験や能力を超えて、自分の新たな世界を切り拓きながら実践する新たな挑戦を意味します。

それを一緒にやってみませんか。確かに本業をしながらの新たな挑戦であり不安もあるでしょう。しかし、自分が関わっている地域のために本業を超えて自分に何ができるのかと自分に語りかけることはご自身の成長にとっても大切な問いかけではありませんか。

私も弁護士として、弁護士以外の自分の役割について自分自身に問いかけています。私は弁護士の殻を打ち破り、弁護士としての能力を超えることができるのだろうか。そして何ができるのだろうか？

### ～私は何ができるだろう～

私に関心があるのは、この問いかけです。これを皆さんと一緒にそれを模索して実践し、皆さんと一緒にお互いの自分自身の新たな世界を見てみたいのです。

その対象(テーマ)としては、地域の課題に取り組みそれを解決する力を持つこと、その力を実際に思う存分に発揮して地域に貢献できることは、とてもやりがいがあるだけでなく、楽しげでもあります。

そのために、私が暮らしている福岡市南区で、本業を超えて地域に貢献できる福祉職の人材を育て、ともに学ぶために、さらに弁護士と福祉関係者との連携モデルの構築のために「南区・篠木コミュニティゼミ」を立ち上げることにしたのです。

## 二 篠木コミュニティゼミの目的

ソーシャルデザイン・コミュニティデザインの手法を構築するための専門家集団をつくり、それを実践すること。

※ ソーシャルデザインとは

人間の持つ創造の力で、社会が抱える複雑な課題を正確に把握し、仲間を創りながら、その課題の解決に取り組む工夫と活動。

※ コミュニティデザイン

地域が抱える課題を対象とするもの

※デザイン…取組みや工夫くらいのイメージ

## 三 ビジョン（何をめざすか）

- ①福祉職がその専門知識を超えて能力を発揮し、地域の課題に取り組んで地域住民の幸せな暮らしに貢献することの価値を広める。
- ②それを、企業と福祉の連携（融合）など新たな手法を取り入れつつ実践する。
- ③一人の人間として、自分自身の新たな可能性を見出す。

## 四 内容（何をやるか）

### 1 コミュニティデザインを学ぶ⇒地域の仕組みを構築する＝地域貢献の基礎知識を学ぶ

①実践学であるコミュニティデザインの手法を学び、それを利用する。

←医療・介護の連携は既に展開されている＝切れ目のないサービス？

しかし、それは利用者・患者の個別ニーズに対応するためなので、地域の課題解決としては十分とは言えない。公のサービスでは不足する部分にどのように対処すれば良いのか。その方法論を徹底的に研究する。

参考文献①『コミュニティデザインの時代』山崎 亮氏 中公新書 860円

②『ソーシャルデザイン実践ガイド 地域の課題を解決する7つのステップ』

寛裕介著（英治出版）

③『ワークショップ』～住民主体のまちづくりへの方法論～ 学芸出版社

④『アイデアは地球を救う』

⇒全員②の本を購入し、意識統一！！

②地域の課題の検討：どういう事を解決できればコミュニティの武器になれるか？を検証・徹底議論する。

③個々の（専門職の）視点を融合させ、実践的に構築・参画する。

- ④アイデア力をつける→最大のメリットを最大に活かす：一つのアイデアが20倍にも膨れ上がる⇒主体的・能動的に取り組みを展開

## 2 全国の地域コミュニティの事例を研究し、それを活用する

- ①全国の成功事例と失敗事例を徹底的に調査しよう
- ②発想を豊かにする
- ③他の取り組みの援用とバージョンアップを目指す  
→その中で、他職種や民間団体、地域住民との連携のあり方を考え、自分達が地域でできることを明確にしていく。

## 3 地域の課題を見出し、実際にその解決に取り組む

個別のチームを編成して実践し、フィードバックしていく。

## 4 コミュニティマネジメントリーダーになろう！！

- ①全員が企画・運営の役割を担い、要となる役割リーダーを遂行できるようになる。
- ②コミュニティ・ファシリテーターの役割とは？⇒実践に結びつける
- ③ゼミを中心とした研修企画とその運営を実施する
- ④コミュニティデザインのスキルを他者に伝える。
- ⑤一人でもやれるようにする
- ⑥地域プロデュース

## 5 企業とのコラボによる地域貢献を実践する

- ①企業の本来的な習性やマーケティングを学び、どのような形での連携が可能かを研究する。
- ②実際に企業との連携事例を作っていく。
- ③連携相手としての企業に貢献できる発想や人材の育成
- ④ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスを学ぶ

## 6 福祉施設や事業所や医療法人の地域貢献の在り方を検討する

## 7 リーガルソーシャルワーク（弁護士との連携）

- ①ゼミメンバーの業務や活動を篠木が支え、利用者、地域住民に対し、法的な視点を提供する。
- ②地域の課題のうち、法的な部分を篠木が担当し、方向性を見出す。
- ③コミュニティの中の身近な法律相談を実践する（課題や関連問題を見出すため）

## 8 同じ目的・ビジョンをもった仲間との関係づくり

懇親会やゼミ旅行もやる（笑）。

## 五 方法（どのようにやるか）

- 1 篠木の講義と方向付け
- 2 メンバーによる各テーマの分担制（発表と検討）
- 3 外部講師による発展学習
- 4 個別チームの編成による地域課題への取組み

## 六 運営方法

- 1 主催：翼・篠木法律事務所（篠木弁護士）  
※必要があれば、ケアマネゼミチーム篠木のメンバーも手伝う。
- 2 事務局 片原さん、那珂川病院さん？
- 3 参加者 25～30名（南区に何らかの所縁のある人）
  - ①設立の趣旨や目的やビジョンに熱く賛同できるメンバー
  - ②多職種にて構成⇒分野・立場・領域を超えて、『質』で勝負できるエキスパート集団として機能させる。
  - ③メーリングリスト作成し、情報共有・連絡を密に図る。
  - ④ポジティブな運営・協同を！！  
検討テーマについて各自学習して発表し、皆で議論をする。  
なお、「掟」は「決して仲間の批判はしないこと」((笑))
- 4 会費
  - ①検討中  
※実費もかかるので無料はあり得ないが、篠木としては実費その他として年間5000円は必要と考えている（篠木の経費は含まれない）。
  - ②イベント開催時は、協賛金か？
- 5 開催日程等
  - ①1～2か月に1回程度開催（年間8回程度かな）
  - ②18時30分～20時30分（時間厳守）
  - ③懇親会は適宜やる。

\*トピックスがあれば、連月の場合あり

\*色々なアイデアを出し合いながら、楽しく一致団結しましょう(\*^^)v

開催場所：那珂川病院さん、南区役所

第1回 5/12 (火) ゼミオリエンテーション・自己紹介

第2回 6/2 (火) 18時30分～20時30分

場所 那珂川病院

内容 ①篠木の講義「ソーシャルデザイン・コミュニティデザイン～私は何  
ができるだろう～福祉専門職はいかにして地域に貢献するか～」

②メンバーの名簿作成

③検討テーマと役割分担

④今後の予定

第3回以降の日程：検討中

6 役割分担制 (チーム編成)

3名1組くらい？

7 皆で取り組むべき地域の課題のための個別プロジェクト

## 七 イベント

1 研修企画案 その1

『コミュニティデザインの時代』研修会 ※無理でしょう (笑)

講師：山崎 亮氏

医療・介護・福祉・企業等呼びかけパネルディスカッション&多職種ワークショップ

時期は (年内秋までに)

協賛金

2 研修企画案 その2

場所：福岡ドーム?? ※絶対無理でしょう (笑)

『みんなで地域をデザインしよう～!!』 時期：H28?

ゲスト：タモリ (南区高宮出身)

地域住民の方も参加して、ワークショップ

ファシリテーターをゼミメンバーで担う

テーマソングを作詞作曲 ♪ 日赤やすらぎの郷の安達さんに頼む?

## 八 次回日程

第2回 6月2日 (火) 18時30分～20時30分

場所 那珂川病院

## 九 その他

(メモ)